

花巻市の現状と課題



2025年4月3日
花巻市長 上田 東一

花巻市の財政の状況

- 1 -

花巻市の人口動態

- 2 -

第2次花巻市まちづくり総合計画

- 3 -

子ども・子育て応援プロジェクト関連

- 4 -

- ・主な子育て支援
- ・周産期医療体制の確保

花巻で暮らそうプロジェクト関連

- 8 -

- ・奨学金返還支援
- ・就業支援制度
- ・住宅取得等支援制度
- ・結婚新生活支援制度
- ・JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備
- ・新たな産業団地の整備について
- ・リノベーションによるまちづくり・まちなかの公共空間活用

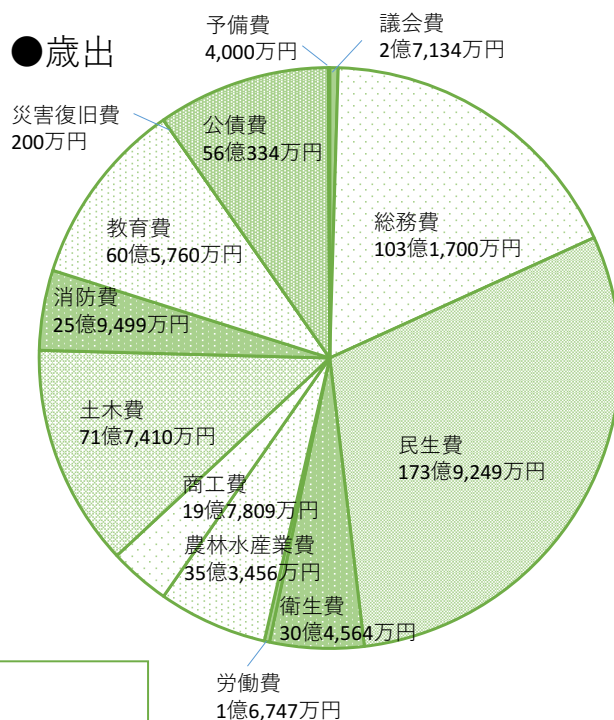
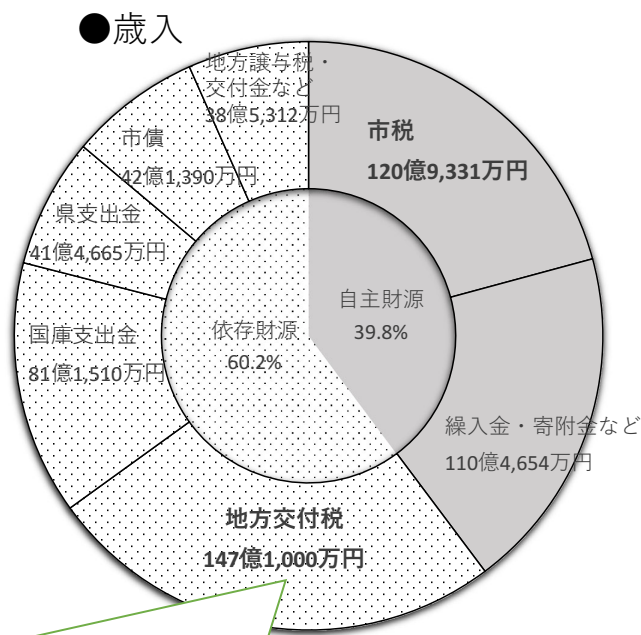
市民の暮らしを守る 多彩な支援策で 安心のまちづくり

- 18 -

- ・新花巻図書館の整備検討
- ・医師確保のための支援
- ・公共交通ネットワーク
- ・有害鳥獣への対応について
- ・物価高騰への支援
- ・花巻地区かわまちづくり

花巻市の財政の状況

◆令和7年度花巻市一般会計予算 **581億7,862万円**（4月1日現在）



地方交付税のうち普通交付税は？

「基準財政需要額」 から「基準財政収入額」 を差し引きして算定
(行政運営に必要な標準的経費) (その団体の標準的な税等収入)

令和7年度における花巻市（試算額）の
基準財政需要額は258億円、基準財政収入額は124億円

花巻市の財政の状況

基金の状況

基金の名称	基金残高 (令和4年度決算)	基金残高 (令和5年度決算)
財政調整基金	7,724,899千円	6,592,103千円
減債基金	1,162,829千円	1,284,235千円
まちづくり基金	6,528,700千円	6,235,952千円
その他	1,565,462千円	3,089,377千円
合計	16,981,890千円	17,201,667千円

・財政調整基金は、災害対応等、国県の支援を待たずに必要な施策を実施するため確保
 ・まちづくり基金は、市民の連帯強化や地域振興に必要な施策を実施するため確保
 ・どちらも市が必要と判断した施策の財源として使用可能

市債の状況

市債の名称	市債残高 (令和4年度決算)	市債残高 (令和5年度決算)
合併特例債	18,469,508千円	17,094,222千円
辺地対策事業債	533,067千円	697,563千円
過疎対策事業債	6,066,696千円	5,838,781千円
臨時財政対策債	16,544,606千円	15,088,877千円
その他の市債	12,606,944千円	12,837,015千円
合計	54,220,821千円	51,556,458千円

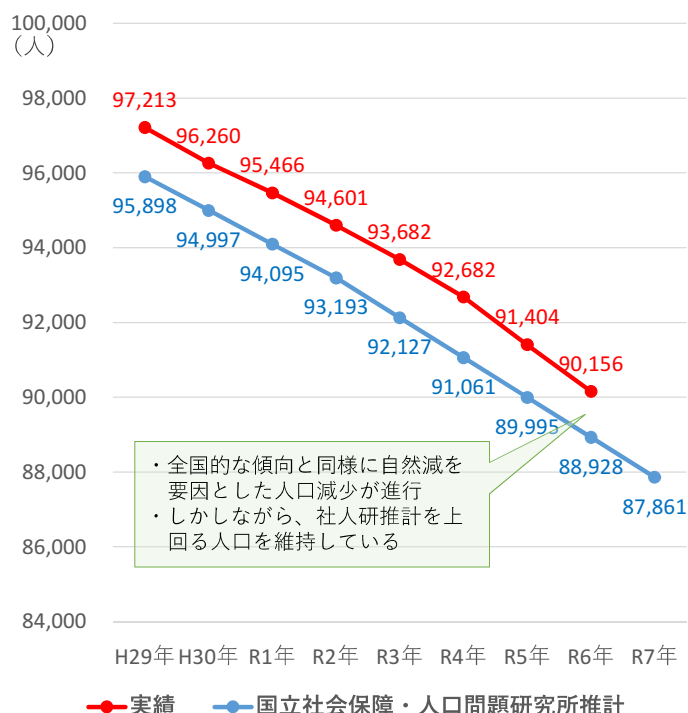
充当率95% 交付税算入率70%
 充当率100% 交付税算入率80%
 充当率100% 交付税算入率70%
 充当率100% 交付税算入率100%

財政上、非常に有利な
地方債を活用

一般会計の市債残高と実質的将来負担額の推移

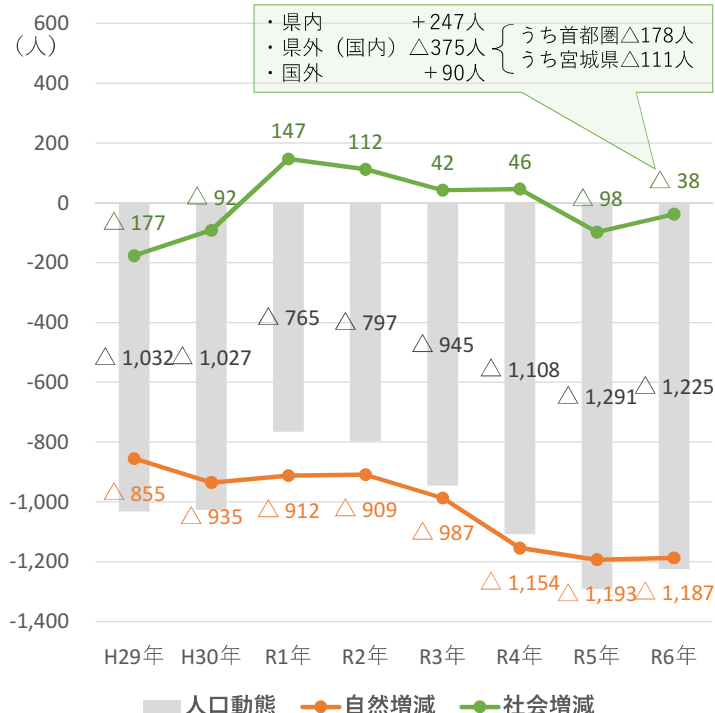
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算
市債残高（各年度末）	57,100,899千円	56,354,004千円	54,220,821千円	51,556,458千円
うち実質的将来負担額	14,583,871千円	14,054,218千円	13,298,112千円	12,626,134千円

総人口の推移



【出典】実績：花巻市住民基本台帳（各年9月末現在）
社人研推計：日本の地域別将来推計人口（R5年推計）

自然増減、社会増減の推移



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
※R6年は花巻市住民基本台帳による速報値。いずれも暦年集計

花巻市の人口動態

令和6年

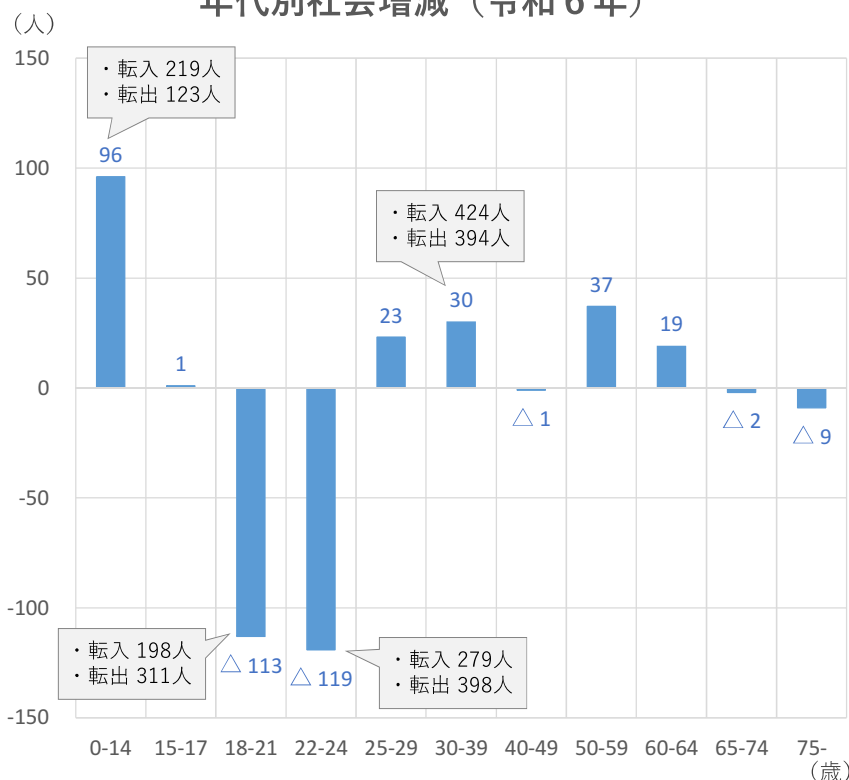
- ・14歳以下、30歳～39歳が社会増
⇒子育て世帯が転入超過の傾向
- ・一方で、18歳～24歳の社会減が顕著

今後は…

第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンに掲げる「重点施策推進プロジェクト」による人口減少対策に取り組む

- ① 子ども・子育て応援プロジェクト
- ② 花巻で暮らそうプロジェクト

年代別社会増減（令和6年）



出典：花巻市住民基本台帳

計画策定の趣旨・役割

第2次花巻市まちづくり総合計画は、花巻市まちづくり基本条例に基づく、長期的な視点に立った総合的な市政運営の基本となる計画

計画の期間・構成

「長期ビジョン」と「アクションプラン」の2層構造で構成



計画の内容

◆長期ビジョン

- ▷ 前計画の評価
- ▷ 将来都市像
- ▷ 6つのまちづくり分野の目指す姿
- ▷ 重点施策推進プロジェクト など

◆アクションプラン

- ▷ 6つのまちづくり分野に紐づく、20の政策、68の施策の ①目指す姿 ②現状・課題 ③成果指標 ④主要事業
- ▷ 重点施策推進プロジェクトの主要事業
- ▷ 財政見通し など

第2次花巻市まちづくり総合計画

将来都市像

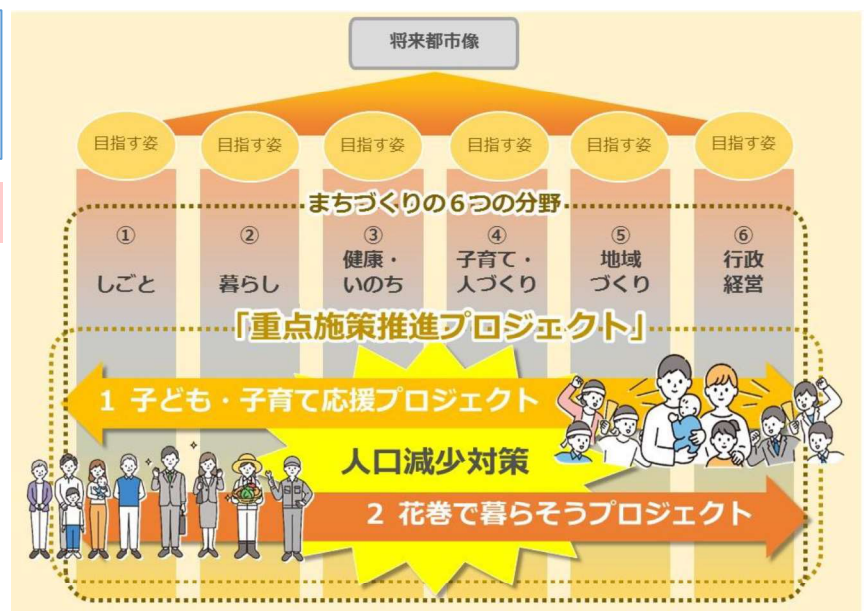
豊かな自然 安らぎと賑わい みんなでつなが イーハートーブ花巻

「6つのまちづくり分野」 「重点施策推進プロジェクト」

市の最重要課題 “人口減少”

6つのまちづくり分野の政策を横断的に推進する「子ども・子育て応援プロジェクト」と「花巻で暮らそうプロジェクト」を推進

人口減少のスピードを緩やかにし、市全体の活力を持続。将来都市像の実現を目指す！





子ども・子育て応援プロジェクト関連



主な子育て支援

●各種助成制度

事業名	対象者	支援内容
医療費助成	就学前児童	自己負担額の全額を助成
	就学以降18歳まで	自己負担額を超過した額を助成 R7当初予算 116,000千円 (自己負担：外来750円、入院2,500円) R7当初予算 158,000千円
	妊産婦	自己負担額を超過した額を助成 (自己負担：外来750円、入院2,500円) R7当初予算 24,000千円
保育料助成	第2子以降3歳児未満	全額助成 ※第1子の保育料は国基準から40%程度引き下げ R7減免見込(第1子) 68,251千円(第2子以降) 80,397千円
副食費助成	第1子	月額300円助成
	第2子以降	全額助成(月額上限4,800円) R7当初予算 36,889千円
学校給食費助成	小学生及び中学生	学校給食費の価格高騰分を市が負担 1食あたり 小学生63円分 中学生71円分 R7市負担分 67,328千円

主な子育て支援



●各種助成制度（つづき）

事業名	対象者	支援内容
インフルエンザ予防接種費用助成	生後6か月から中学3年生	1回の接種につき上限3,000円助成（小学生以下は1人2回、中学生は1人1回まで） R7当初予算 28,578千円
	妊娠されている方	1回の接種につき上限3,000円助成（1人1回まで） R7当初予算 450千円
おたふくかぜ予防接種費用助成	①満1歳の子ども、②小学校就学前1年間の子ども（年長児）	1回の接種につき上限4,000円助成（生活保護世帯は上限8,000円）（①②それぞれ1人1回まで） R7当初予算 4,000千円
不妊治療支援	不妊治療を受けた夫婦	1回の申請につき上限10万円助成（男性不妊治療は上限5万円） R7当初予算 11,819千円

主な子育て支援



●子育て支援事業・支援施設

事業名	対象者	支援内容
産後ケア、産前・産後サポート	妊産婦	妊娠・出産、育児の悩みへの相談対応、産後間もない母子への心身ケア R7当初予算 28,600千円 ※妊産婦の支援を行うNPO法人「まんまるママいわて」に委託 ※現在、宿泊型を含む産後ケア事業の拡充を検討中
地域子育て支援センター	未就学児とその保護者	遊びを通して交流できる場の提供、育児不安などへの相談対応、各種子育て講座開催等の支援 R7当初予算 55,631千円
はなまきファミリーサポートセンター	小学6年生までの子どもがいる世帯	有償ボランティアによる児童の預かり、送迎などの援助 R7当初予算 6,944千円

●教育支援・奨学金制度

事業名	対象者	支援内容
はなまき夢応援奨学金	経済的な事情で修学が困難な人	返還免除型の奨学金を貸与（返還金の全額免除は市内居住期間に限る） R7当初予算 16,680千円
ふるさと奨学生定着事業補助	市奨学金の貸与を受けて大学等を卒業後、市内に居住している人	市奨学金返還額の1/2を助成（返還金の助成は令和6年4月以降に返還を開始する人で市内居住期間に限る） R7当初予算 3,493千円

岩手医科大学は、県立中部病院へ産科医師を派遣

(現在 産科医師 4 名全員が岩手医大派遣の医師)



花巻・北上・遠野・奥州圏域の周産期医療を支える病院の維持につながった

課 題

- ・岩手医大医局も産科医師数は不十分。2024年度からは「医師の働き方改革」による医師の時間外労働時間の規制も始まったことから、県立病院の産科の集約化が懸念される。
- ・産科・小児科医師のほか助産師・看護師も県内全域で不足。
- ・花巻市内でお産件数最多の産科クリニックが、助産師不足等の理由により令和2年3月でお産の取扱いを終了し、市内の産科クリニックは1つだけとなっている。
- ・中部圏域の基幹病院であり、地域周産期母子医療センターである県立中部病院に新生児特定集中治療室（NICU）は整備されていない。

周産期医療確保対策

■ 目的

市民が安心して出産することができる環境の維持を図ることを目的とする。

■ 産科診療に必要な産科医師の確保

市内の産科医療機関へ産科医師として就職する際の支援を行う。

市内の産科医療機関が医師紹介事業者を通じて産科医師を雇用した場合に支払う医師紹介手数料について支援を行う。

(支援の内容)

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ・就職支援金給付 | 産科医師に就職支援金を支給 |
| ・保育料支援 | 産科医師に、子どもを保育施設に預ける際の保育料を支援 |
| ・家賃支援 | 産科医師に最大3年間（※更新あり）、家賃を支援 |
| ・奨学金返還支援 | 産科医師に最大3年間（※更新あり）、奨学金返還を支援 |
| ・交通費支援 | 産科医師に最大3年間（※更新あり）、帰省のための交通費を支援 |
| ・医師紹介手数料支援 | 産科医療機関に、医師紹介手数料を支援 |
- ※支援は就職から3年間を上限としていたが、上限に達した後もさらに3年間勤務することを条件に、再度支援を受けられるよう制度を拡充（R6年度より）

■ 産科診療に必要な助産師・看護師の確保

市内の産科医療機関へ助産師・看護師として就職する際の支援を行う。

(支援の内容)

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| ・就職支援金給付 | 助産師・看護師に就職支援金を支給 |
| ・就職支援金貸付 | 助産師に就職支援金を貸付 |
| ・保育料支援 | 助産師・看護師に、子どもを保育施設に預ける際の保育料を支援 |
| ・家賃支援 | 助産師・看護師に最大3年間、家賃を支援 |
| ・奨学金返還支援 | 助産師・看護師に最大3年間、奨学金返還を支援 |
| ・助産師等紹介手数料支援 | 産科医療機関に、助産師等紹介手数料を支援 |
- ※令和7年度から新設

■岩手医科大学附属病院利用者連絡バスの運行

- 岩手医科大学附属病院の矢巾移転にあわせ、令和元年9月から花巻駅・石鳥谷駅と岩手医科大学附属病院間を往復する連絡バスの運行を開始。
- 平日は1日2便、第1・第4土曜日は1日1便の運行で、入院・通院患者以外にもお見舞いの方など幅広く利用可能。
- 利用料金は花巻駅から乗車で大人800円、小人等は400円。石鳥谷駅から乗車で大人600円、小人等は300円。
- ※小人等…小学生、または身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者。未就学児は無料（要保護者同伴）

妊産婦交通費支援

○市内に住所を有し、県内の産科医療機関に通院または入院している妊産婦の方を対象に、妊産婦健診や通院・入院のため産科医療機関と自宅等との間を移動した際の交通費等を支援

（内容）

- ・妊産婦検診等や通院入院のため産科医療機関と自宅等との間を移動した際の交通費（電車、バス等）
- ・待機宿泊（入院待機または分娩待機）の際の宿泊費・交通費
- ・産科医療機関と同じ病院内にある他科を受診するときの交通費（ハイリスク妊産婦であることを理由とした受診）
- ・補助上限 ハイリスクの有無にかかわらず 10万円 【令和7年度から対象経費拡充】



花巻で暮らそうプロジェクト関連



奨学金返還支援（令和7年度新規事業）

- 市内に住所を有し5年以上定住する意思があり、市内企業に常用雇用された日本学生支援機構の奨学金の返還を行っている大卒者等に対し、奨学金返還支援の補助金を交付
- 返還した奨学金の1/2以内で月額上限1万円、最大60か月支援
- 市内の定住人口の増加と市内企業の人材確保の両方を目的として、令和7年度から新規で実施

①**対象者** ・大学及び大学院を卒業後3年以内で、市内に住所を有し、5年以上定住する意思のある人
 ・日本学生支援機構の奨学金の返還義務のある人
 ・令和7年4月1日以降に市内企業に常用雇用された人

②**対象企業** ・花巻市内に本店又は本社を有する企業
 ・若者女性活躍関連企業（本店又は本社が認定を受けている場合も対象）
 ・働きやすい職場関連企業（本店又は本社が認定を受けている場合も対象）
 ※いわて産業人材奨学金返還支援制度の認定企業を除く

③**支援内容** 補助対象期間（1/1～12/31）に返還した奨学金の1/2以内
 月額1万円（上限）、最大60か月

就業支援制度①



制度	概要	支援（助成）内容
移住支援事業 （花巻市移住支援金） R7当初予算 20,400千円	●東京圏からの移住者に国・県・市が負担し 移住支援金を交付 ※国1/2、県1/4、市1/4 ⇒ 市が一括交付	移住支援金 ・世帯での移住 100万円 ※18歳未満の子供を伴って2023年4月以降に移住した場合、子供1人につき100万円加算 子供の人数加算額に上限なし ・単身での移住 60万円 ※2019年10月より開始 ※U・I・Jターン者就業奨励金と重複受領可能
（花巻市地方就職支援金） ・交通費 （就職活動等にかかる経費） ・移転費 《R7新設》 （移住にかかる経費） R7当初予算 370千円	●東京圏からの移住者に国・県・市が負担し 地方就職支援金を交付 ※国1/2、県1/4、市1/4 ⇒ 市が一括交付 ・交通費 令和6年度 国・県において制度拡充し、市も拡充 ・移転費 令和7年度 国・県において制度拡充し、市も拡充予定	地方就職支援金 ・交通費 上限 15,200円 ※岩手県内の内定先企業が実施した採用面接等に参加するために要した往復交通費 ・移転費 上限 108,000円（予定） ※上記交通費の支給要件を満たす場合に、その移転に要する費用

就業支援制度②



制度	概要	支援（助成）内容
U・I・Jターン者 就業奨励金 R7当初予算 2,200千円	●県外から市内企業に就職したU・I・Jターン者に、 奨励金を交付	奨励金 ・U・I・Jターン者 25万円 ※ 花巻市移住支援金 を併給する場合は、10万円 ※1年以内に6か月以上継続して勤務し、かつ期間の定めのない雇用契約であること。なお、新卒者は対象外。
インターンシップの 実施・支援 R7当初予算 440千円	●市内事業所でインターンシップを行う大学生等に 交通費及び宿泊費を助成	インターンシップ参加に要した経費助成 ・上限 2万円 ※居住地～市内事業所の交通費・宿泊費・ バック旅行費 ※宿泊費は1泊あたり5千円を上限
事業	概要	
花巻市職業人材就業促進 事業	●はなまき企業見学バスツアー（R5年度・R6年度実施） 岩手県内の高校に在籍する高校生を対象に、市内事業所を見学するバスツアーを実施 市内12の事業所を4コースに分け、1コース3事業所を見学	
R7当初予算 3,205千円	●出前型企業説明会（R5年度実施） 市内事業所の事業内容等を紹介する動画を製作し、市内の高校で上映するとともに企業ガイダンスを実施 ●市内企業合同説明会（R6年度実施） 岩手県内の高校生を対象に、市内企業が一堂に会して対面ガイダンス形式による合同説明会を実施	

住宅取得等支援制度① ー花巻市空き家バンクー



● 空き家登録379件、利用登録865件、成約220件（2025.2.28現在）（うちR6年度 空き家登録27件、利用登録86件、成約22件）

制度	概要	支援（助成）内容
空き家バンク活用奨励金	● 市外からの転入者と成約した場合 空き家所有者に奨励金支給 ※市外からの転入者との成約に限る	奨励金10万円
定住促進住宅取得等補助金	● 県外からの転入者（子育て世帯または空き家バンク利用者）及び市外の就農希望者が市内で住宅を取得・賃借する際の費用を助成	空き家のリフォーム費用、引越費用、家具家電購入費用等 補助対象経費の2分の1を助成 ※市内事業者等がリフォームを行った場合は、限度額内で全額を補助 ・住宅購入の場合 上限200万円 ・住宅賃借の場合 上限100万円 ※住宅本体取得費は補助対象外 ※2人目以降の18歳未満の子について、補助上限額を1人につき100千円引き上げ(R6年度より拡充)
若者世代等空き家取得奨励金等	● 結婚や子育て等のライフステージを控えた若者世代及び県外からの移住者に対する住宅支援のため、「空き家バンク」に登録された住宅の取得又は改修に係る費用を支援 対象者・・・39歳以下の若者世代と県外からの移住者	【若者世代】 空き家取得 奨励金 30万円 ↓ リフォームした場合 上限40万円 ↓ 子育て世帯 【移住者】 定住促進住宅取得等補助金 ↓ 子育て世帯の場合 奨励金20万円 ※県の「若者・移住者空き家住まい支援事業費補助金」より2分の1補助 空き家の取得：15万円上限、空き家の改修：20万円上限 子育て世帯加算：10万円上限

花巻市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の開始に伴い、2025年4月からはパートナーシップの宣誓をした世帯の子も対象

住宅取得等支援制度② ー子育て世帯住宅取得支援ー



制度	概要	支援・助成内容
子育て世帯住宅取得奨励金	①市が定める区域（※1）に住宅を取得した<u>子育て世帯</u>に奨励金を交付 ※1 花巻・石鳥谷地域は花巻市立地適正化計画に定める「居住誘導区域」or「都市機能誘導区域」 大迫・東和地域は地域と市が定める「生活サービス拠点」（大迫地域は大迫地域、外川目地域の一部）（東和地域は土沢地域） ②親と同居または近居（※2）する住宅を取得した<u>子育て世帯</u>に奨励金を交付 ※2 親世帯と同じコミュニティ地区内を想定	奨励金30万円 （都市機能誘導区域内へ新築購入する場合、20万円加算） ※大迫・東和地域に住宅取得した方は50万円 ※2人目以降の18歳未満の子について、1人につき100千円を加算（R6年度より拡充）

花巻市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の開始に伴い、2025年4月からはパートナーシップの宣誓をした世帯の子も対象

花巻市と独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結により、上記制度対象者が長期固定金利住宅ローン「フラット35」を利用する場合、借入金利を最長5年間、年0.5%引き下げ

■新たな補助制度の創設

【花巻市民間宅地開発支援事業補助金（R3新設）】

- ・面積3,000㎡未満のミニ開発で、優良な宅地分譲を行う事業者に対し、造成費用の一部補助。
補助対象区域：居住誘導区域（花巻地区、石鳥谷地区）、生活サービス拠点（大迫地区、東和地区）
花巻地区は居住誘導区域周辺の用途地域（一部を除く）も対象
補助金の額：1開発あたり上限200万円（都市機能誘導区域300万円）
※分譲戸数や道路面積、造成費用から算定

【花巻市空家等解体活用補助金（R3新設）】

- ・空き家を解体し、建築物の新築を行う者に解体費の一部補助
補助金の額：補助対象経費（解体費）の2分の1

区域	限度額
市内全域	40万円（旧耐震基準に建築されたものは10万円加算 上限額50万円）
市内全域のうち、居住誘導区域 又は生活サービス拠点区域	100万円

〈目的〉・空家等の減少（空家所有者・新規居住者への財政支援）
・解体後の遊休不動産の利活用を推進（商店の開業や居住人口の増加を期待）
・景観上・防災上、良好な生活環境の形成（新しい建物が建設されることにより、地域の良好な生活環境の向上）
・耐震化率の向上（近隣住民の安全な暮らしの確保）

結婚新生活支援制度

- 市も国・県と連携して、結婚新生活に伴う住宅取得費用または住宅賃貸費用、引越し費用を、市内で結婚新生活を開始する世帯を対象に支援。
※市で実施する他の住宅支援施策との併用も可能。

①補助対象：結婚に伴う住宅取得費用または住宅賃借費用、住宅のリフォーム費用、引越費用

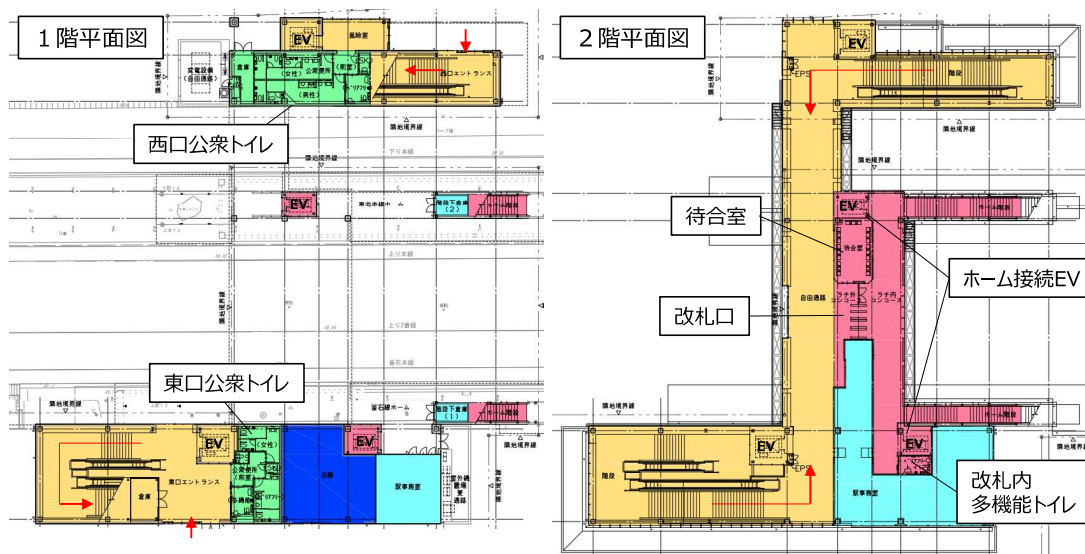
②補助世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の新婚世帯

③補助上限：30万円 ※夫婦ともに29歳以下の場合▶上限70万円

R7当初予算
14,400千円

花巻市パートナーシップ・ファミリーシップ制度
の開始に伴い、2025年4月からはパートナーシップ
の宣誓をした世帯も対象
※花巻市の独自支援

○東西自由通路・橋上駅舎の整備概要（R6.7月末完了基本設計）



【自由通路の機能】

- ・幅員 4 m
- ・東西にエレベーター各 1 機
- ・東西階段部に昇り専用エスカレーター設置
- ・東西に公衆トイレ設置

【凡例】

- 自由通路(市管理)
- 公衆トイレ(市管理)
- 駅施設 (JR管理)
- 駅事務室等(JR管理)
- 店舗(JR管理)

○整備概略スケジュール（R6.7月末完了基本設計）

スケジュール	1年目(R5)				2年目(R6)				3年目(R7)				4年目(R8)				5年目(R9)				6年目(R10)			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	基本設計 (R6.7月完了)				実施設計 (R6.11月から実施)				準備工事 仮駅工事				本体工事											
																					自由通路&駅 供用開始			
																					仮駅撤去			

JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備

○整備イメージ図（R6.7月末完了基本設計）

東口外観図



西口鳥瞰図



東口階段踊り場



2階自由通路内



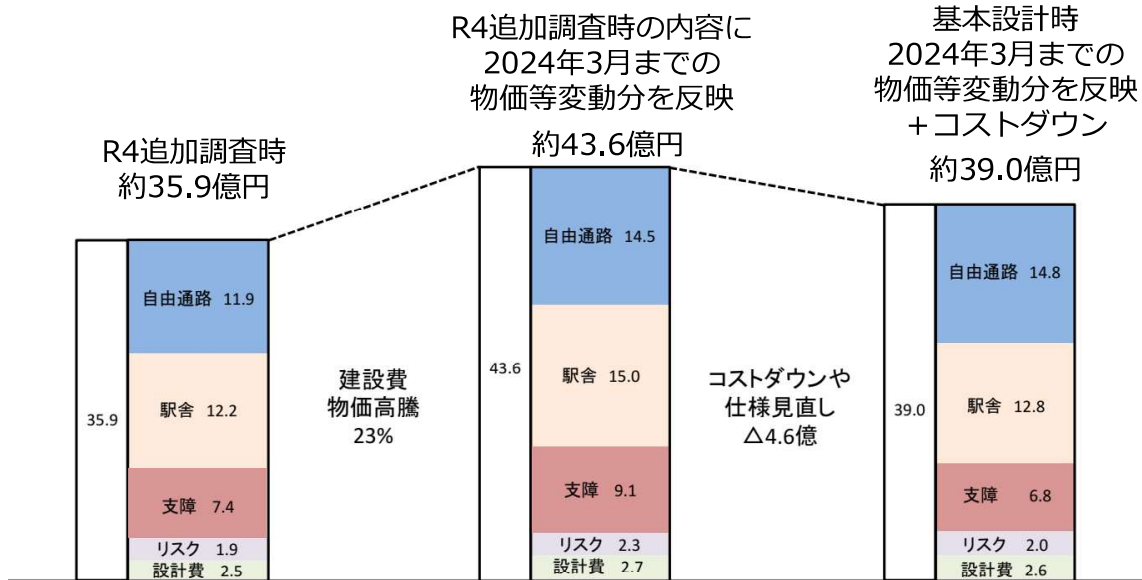
西口階段降り口



R 4 追加調査時 約35.9億円
(2020年までの物価・労務費の変動分を含む)

⇒ R 6 基本設計完了時 **約39.0億円** (+3.1億円, +8.6%)
(2024年3月までの物価・労務費の変動分を含む)

- ・令和4年6月末に報告された追加調査結果について、2024年3月までの建設費の物価・労務費の変動分(+23%)を加味して計算した場合、約43.6億円と試算
- ・建設物価等の高騰(+23%)のなか、基礎の施工方法の変更や駅施設の面積の削減、既存変電設備の利用などのコストダウンにより、追加調査時の概算事業費と比較し**+8.6%まで圧縮**

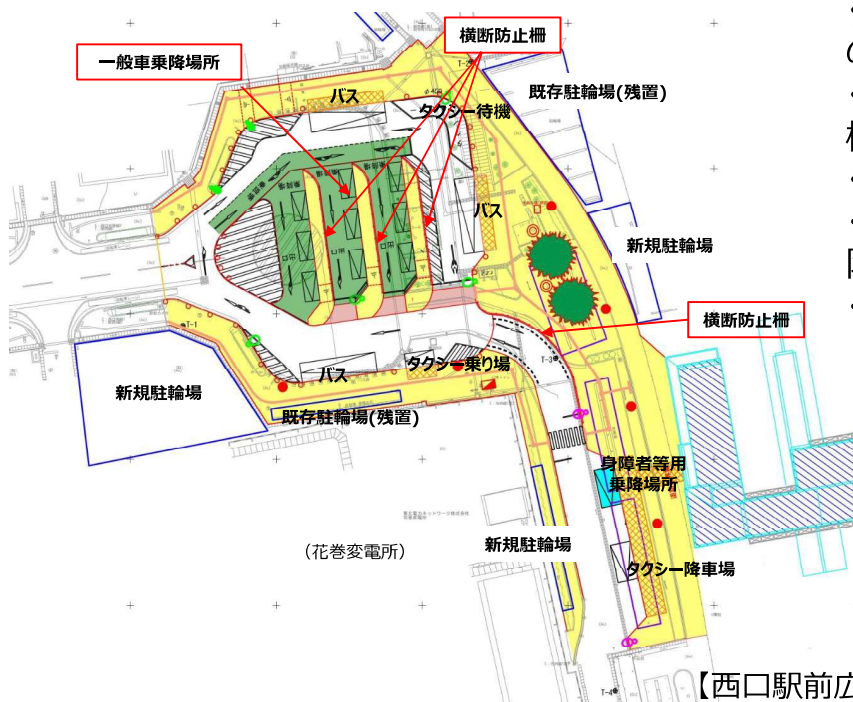


○西口駅前広場の整備（案）

交通量調査や交通事業者等へのヒヤリング結果等を踏まえ、J R 花巻駅西口広場再整備に関する土地利用や交通機能等について課題を抽出・整理し、整備案を作成。

令和6年度に具体的な整備内容を検討するために基本設計を実施。

令和7年度に実施設計を予定。



- ・ロータリーを拡張し、ロータリー内に一般車の乗降場所(9台)を設置
- ・タクシー乗り場(1台)、降り場(2台)を、待機場所(2台)設置
- ・バス乗り場3か所設置
- ・自由通路出入口付近に障がい者用の乗降場所を設置
- ・乗降場所に屋根を設置



【西口駅前広場整備後のイメージ図】

○全体事業費（令和6年度末時点）

事業	項目	概算事業費
駅橋上化・東西自由通路	整備費	約 3,900,000 千円
	用地費(東西降下部分)	約 35,000 千円
西口駅前広場整備	整備費	約 440,747 千円
	用地費(駐輪場)	約 18,776 千円
西口駐車場整備 (15台程度,500㎡想定)	整備費	約 56,000 千円
	用地費(駐車場)	約 20,000 千円
合計		約 4,470,523 千円

(現在の西口駅前広場ロータリー)



財 源	
国庫補助額	
約2,146,762 千円	市負担分に合併特例債(充当率95%)を活用した場合
市の形式的負担額	
約2,323,762 千円	交付税措置額(返済額の70%)
	約1,545,301 千円
	市の実質的負担
	約778,461 千円

- ※国の補助制度「都市構造再編集中支援事業」の活用を予定
- ※市負担分に合併特例債の活用を想定
- ※合併特例債は、返済額の70%が国から交付税措置をされるため、国の補助金が満額交付される場合における市負担額から交付税措置額を除いた市の実質的負担額は約7.7億円と試算（国全体の予算額による調整により国の補助金が減額された場合は、合併特例債の増額も検討）
- ※西口駐車場整備は需要を検証したうえで整備の可否を検討

花巻市の産業団地の現状について

○ 現状（市内産業団地と分譲率）

- 花巻市内の産業団地数 **14ヶ所**
- 分譲率 **96.4%**（13ヶ所は分譲完了）
- 今後、県南地域では、
 - 半導体・自動車産業の集積が見込まれる。**
 - 物流倉庫の機能を兼ねた中継施設等の需要拡大が見込まれる。**

○ 課題

- 市内に**分譲可能な用地が僅少。**
- 産業集積の実現に向けた**企業ニーズや経済状況に応じた柔軟な誘致活動が不可欠。**

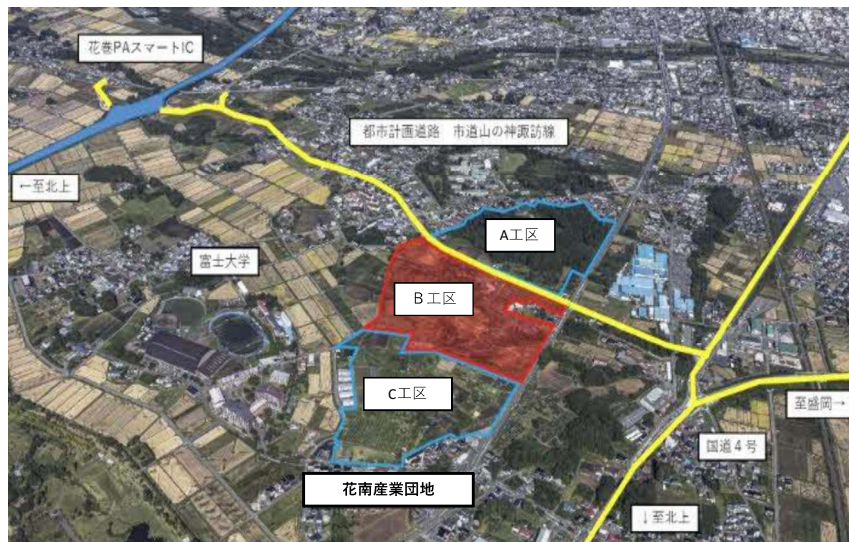
【花巻市の主な産業団地】



【主な産業団地の分譲状況】
※R7.2月末時点

	分譲面積	分譲済面積	分譲率	立地企業数
花巻第一工業団地	45.6ha	45.6ha	100%	9社
テクノパーク	8.1ha	8.1ha	100%	9社
花巻第二工業団地	45.8ha	39.1ha	85.3%	10社
花巻流通業務団地	31.6ha	31.6ha	100%	20社

新たな産業団地の整備について（中長期的な対策）①



新産業団地の開発

花南産業団地 32.9ha

内訳	A工区（北側）	11.3ha
	B工区（中央）	12.3ha
	C工区（南側）	9.3ha

・全32.9haのうちのB工区（12.3ha）の
先行整備を決定し、R5.9月よりB工区の造成
工事を開始

👉 R6.7.12に市ホームページで分譲要領を
公開し、先行して分譲希望の受付を開始

- ・南側C工区は令和8年度から造成開始見込み
（令和9年度分譲開始見込み）
- ・北側A工区は令和9年度から造成開始見込み

【花南産業団地の特長】

1. 花巻PAスマートICから**わずか3分！**
2. 同スマートICは、車長12m超でも通行可能な**フル規格！**
3. 県内外の主要工業団地へも**アクセス抜群！**

（自動車・半導体産業が集積する岩手県県南地域に位置し、
東北地方の高速道路網がクロス、新幹線駅、空港にも近接！）

新たな産業団地の整備について（中長期的な対策）②

先行開発エリアのB工区は、西側より造成工事を開始



※複数の区画希望の場合については、応相談

【花南産業団地B工区（12.3ha）の概要】

用途地域：工業地域
建ぺい率/容積率：60% / 200%
分譲価格：12,500円/㎡
用水：上水道
排水：公共下水道
電力：普通高圧・特別高圧対応可（供用開始時期は要協議）
ガス：プロパンガス
交通アクセス：
○道路：国道4号 300m、花巻南IC 3.5km、花巻PAスマートIC 2km
○鉄道：J R東北本線・花巻駅5km、東北新幹線・新花巻駅 9km
○空港：いわて花巻空港10km
○港湾：釜石港（花巻PAスマートIC～釜石IC=85km）

西側（C～D区画）は分譲中
東側（E～H区画）は令和7年9月以降分譲予定

	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
埋蔵文化財発掘調査（西側）												
埋蔵文化財発掘調査（東側）												
B工区造成工事（西側⇒東側）												
市道整備（市道産業団地線）												
下水道・上水道（産業団地内）												
交差点整備（右折レーン等設置）												
下流排水路改修・整備												

R6.7.12より分譲希望の受付開始

※ 先行開発（B工区）のロードマップ

花巻市
HANAMAKI

■ 花巻中央エリア社会実験 ～花巻みち活～street to park challenge～

- ・ 公共空間活用にあたっての課題整理、活用促進策について社会実験の実施を通じて具体的に検討し、多様な使い方が可能なエリアとすることでにぎわいの創出や魅力向上を図るもの。
- ・ 開催エリアは、花巻中央広場、大堰川プロムナード、旧まちなかビジターセンター前、周辺道路（地図①）
- ・ 令和5（2023）年度から開始し、公共空間を活用したい民間事業者（実施者）を募集し、市が支援する形で実施している。（令和7年度も継続実施予定）

2023年（令和5）年度の実施状況

	開催日	内容
1	7月23日（日）	花巻おもちゃフェスティバルなど
2	8月25日（金）	
3	8月26日（土）	まちなかBBQフェスティバル、ストリートハンドボール、焚火 など
4	8月27日（日）	
5	9月24日（日）	はなまき街中Living など

2024年（令和6）年度の実施状況

	開催日	内容
1	7月20日（土）	花巻おもちゃフェスティバルなど
2	8月24日（土）	『上町ストリート&パークチャレンジ～ハナビレ』 花火と同日開催、出店、ハンドボール、サウナチャレンジ 等
3	9月21日（土）雨天で延期 →11月4日（月・振休）	『花巻ふるさとフェスタ!』地域魅力発信イベント（グルメフェス）
4	毎週日曜午後	『上町子ども乗り物広場』道路を利用した子どもむけ乗り物広場（7月下旬～9月下旬）

・ 広く公共空間活用を促すため、申請方法や使用事例をまとめた「公共空間活用ガイドブック」を作成
⇒市ホームページに掲載



地図① 社会実験エリア（花巻中央広場付近）



花巻中央エリア社会実験で生まれた風景



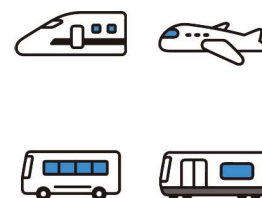
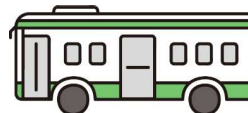
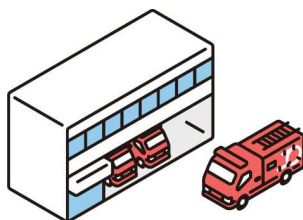
【実施されたプログラム】

マルシェ（キッチンカー等出店）、スカイアンブレラ、おもちゃ広場、スケートボード、多言語ラジオ体操、青空まちライブラリー、たき火、道路ペイント、道路上でのバーベキュー、ストリート&車いすハンドボール、かがり火をたいた神楽鑑賞会、花巻傘&成島和紙ランプシェイドによるライトアップ、親子まちなか探検、ストリートピアノ、人工芝の敷設による臨時パークレット、サウナ、子ども乗り物広場、キャンプ など





市民の暮らしを守る 多彩な支援策で 安心のまちづくり



新花巻図書館整備について

1. 新花巻図書館整備基本構想 基本方針

1 郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館

- 花巻市は輝かしい功績を遺した数多くの先人（宮沢賢治・萬鉄五郎等）を輩出
- 先人達を顕彰し、次の時代を担う子ども達にその精神を継承
- 郷土を愛する心を育むことができるよう、郷土資料や先人の資料の充実を図る



2 すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館

- 幼児、子ども、高齢者、障がい者、すべての市民が気軽に利用でき、親しみやすく使いやすい
- 自然や周辺に調和した明るくゆったりしたスペースとし、読書だけでなく、くつろぎと交流の場



3 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

- 市民の読書や生涯学習を支援するだけでなく、情報を得る場、生活、仕事、教育、産業など各分野の課題解決を図る図書館であることが求められている
- 広い分野にわたる資料やレファレンス（検索・相談）機能の充実を図る



新花巻図書館整備について

2.新しい図書館はどんな図書館に

現時点で検討を進めている新しい図書館のサービスや機能は次のとおり。

①全体面積（延床面積）



②すべての本の数（収蔵資料数）

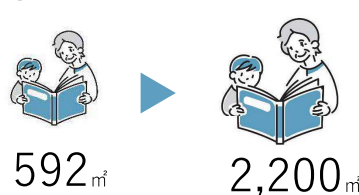


建設後、数年で書庫の空きがなくならないように十分なスペースを確保。また大迫・石鳥谷・東和図書館の共同書庫も兼ねる。

③閲覧しながら探することができる本（開架資料数）



④開架・閲覧スペース



展示情報コーナー、案内サービスカウンター、資料検索コーナー、レファレンスカウンター、新聞雑誌・書架・閲覧スペース、郷土資料・行政資料スペース、視聴覚スペース、子ども向け書架・閲覧スペース等

⑤多様な活動スペース



⑥カフェスペース・多目的スペース

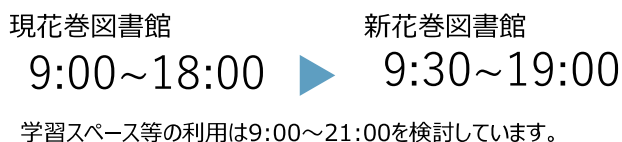


カフェスペース
ワークショップの意見等を踏まえ、室内に飲食可能なカフェスペース（喫茶）を設置。なお運営は、地元事業者の出店も検討。

多目的スペース
イベントやワークショップ、市民の研究や先人資料の展示、会議室や講座室としても利用できる多目的スペースを設置。

新花巻図書館整備について

⑦開館時間（図書貸出サービス提供時間）



⑧休館日

現花巻図書館	祝日、年末年始（12/28～1/3）、資料整理日（毎月1日）、蔵書整理点検期間（1回/年）
新花巻図書館	1日/週、年末年始（12/28～1/3）、資料整理日（毎月1日）、蔵書整理点検期間（1回/年）

3.新しい図書館ではどんな本が読めるのか

現花巻図書館の蔵書は、他の図書館と比べ、文学に関する書籍が多く、社会科学や自然科学などに関する書籍が少ないという特徴がある。

新しい図書館では、現在のよい特徴を残しながら、先進図書館を参考に蔵書構成を見直し、また多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、幅広い資料を収集。

新聞



雑誌



学習や仕事に役立つ専門書や実用書、ガイドブックなどの蔵書を充実

電子書籍の導入を検討



宮沢賢治の図書資料、花巻の先人や郷土に関する資料を充実

- 館内に宮沢賢治コーナーを設置し、関係資料を集約
- 宮沢賢治に関する購入できる資料は可能な限り収集、保存、提供
- 論文等専門的で購入できない資料はイーハートブ館と連携イーハートブ館の蔵書を閲覧（複製・デジタル化を検討）できるよう検討
- 『中学生のための花巻人物誌 揆奮』に掲載されている様々な先人に関する資料を収集



4.新しい図書館でどのようなサービスを受けることができるか

新しい図書館で提供する予定の新たなサービスや拡充するサービスは、次の内容を検討。

①主な新たなサービス



予約図書を自分で受け取れるコーナーを設置



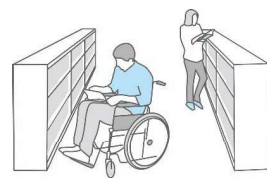
レファレンス（検索・相談）専用カウンターを設置



パソコンやタブレット端末を貸出し、館内資料の検索などに活用



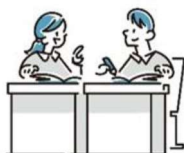
貴重な地域資料や古文書、古地図などをデジタル化し、保存活用



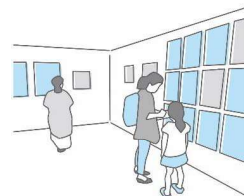
車いすでも図書館が利用できる書架・家具の配置

②主な拡充するサービス

- 資料の貸出し手続きのスピード化を図るため、自動貸出機を増設
- 講演会やセミナーなどを充実
- 学校図書館や地域の読書活動を支援
- 図書館司書に児童担当の専門職員を配置



- 市の産業に関するものや職業選択、キャリアアップのための資格取得に役立つサービスを充実
- 利用しやすい通路の広さや余裕を持った休憩場所の配置
- 館内どこでも利用できるWi-Fi環境を整備



新花巻図書館整備について

5.建設候補地（総合花巻病院跡地・JR花巻駅前）選定について

①建設候補地比較調査

建設候補地（総合花巻病院跡地・JR花巻駅前）比較資料の作成委託。2023年12月定例会において、補正予算可決。2024年1月15日に入札を実施し、契約締結。（2024年10月15日完了）

調査内容

ア.駐車場需要推計

新花巻図書館の利用者目標に基づく必要駐車台数の検討、建設候補地の周辺施設利用における必要駐車台数への影響検討、新花巻図書館の駐車必要台数の策定

イ.図書館事業費等の比較

建設候補地の現況整理、新花巻図書館整備基本計画（試案）の検証、ゾーニングプランの検討、土地利用計画図の検討、概算事業費の作成、イメージパースの作成

比較調査結果に関する市民説明会

- 建設候補地の比較調査結果の概要版を市民の皆さんに示し、その内容について説明
- 市内4カ所で開催

花巻地域（11/10）	52人
大迫地域（11/11）	9人
東和地域（11/12）	25人
石鳥谷地域（11/14）	16人

 延べ102人の参加

比較調査結果の公表

- 建設候補地の比較調査結果の報告書および概要版は、市ホームページで公表するほか、市内各所に配架
- 概要版は持ち帰ることも可能
- 調査結果の概要は、「広報はなまき」に掲載

6.市民会議の開催

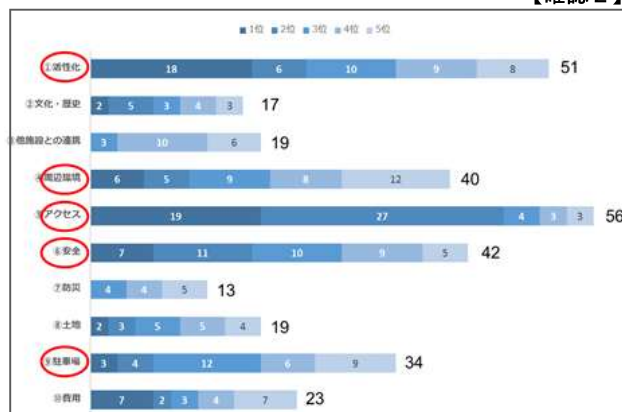
- 建設候補地調査報告書などの資料を用いて、建設候補地について市民の意見を集約するための市民会議を、市議会の予算議決を経て実施
- 市民会議は、令和6年3月末現在の住民基本台帳より15歳以上の3,500人を無作為に抽出して案内を送付。10代から80代の75名の参加希望をした方により実施
- 慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚氏がメインファシリテーター（進行役）となり4回の会議を開催
- 市民会議では、2か所の図書館建設候補地について、メリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合い、対話を繰り返す中で、最終的にそれぞれ個人の意見をまとめ、ヒアリングシートに記載
- 重要視された分類の上位5つは、1. アクセス、2. 活性化、3. 安全、4. 周辺環境、5. 駐車場の順。アクセス「明らかに駅前」42人、活性化「明らかに駅前」27人、安全「どちらかといえば駅前」25人、周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、駐車場「どちらかといえば病院」24人
- 重要視された5分類のうち4分類で駅前が評価されており、駐車場のみ病院跡地が評価
- 市では、多くの市民に利用され、花巻市全体の活性化にも寄与することが期待される「花巻駅前」を新花巻図書館の建設候補地として選択し、新花巻図書館整備基本計画を策定したいと考えます。

【確認1】

項目・分類	1.明らかに病院跡地が良いと思う	2.どちらかといえば病院跡地が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画の視点					
①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

※費用について無回答の人が1人

【確認2】



7.花巻市議会の提言への対応

花巻市議会 新花巻図書館整備特別委員会提言

①建設場所について

新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針に基づき、都市機能誘導区域内へ整備することとし、市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと。なお決定に当たってはその経過及び理由を明確に示し、市民の理解が得られるよう努めること。

②建設用地について

建設用地は市有地とすること。借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けるべきであること。

③複合施設について

図書館単独での整備を基本とすること。新花巻図書館整備基本構想に盛り込まれた市民のくつろぎと交流のスペースとして、飲食コーナーは図書館に必要な機能の一つとして位置づけ、整備を検討されたいこと。

①建設場所について

「市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと、なお決定に当たってはその経過及び理由を明確に示し、市民の理解が得られるよう努めること」を踏まえ、市が市民の意見を踏まえ提案した総合花巻病院跡地及びJR花巻駅前（JR用地）について新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の意見を聴くとともに、市民説明会を開催し、さらには双方の候補地についての事業費調査とイメージパースの作成を専門業者に委託し、令和6年度には市民対話型の市民会議を実施したところ。

今後は、パブリックコメント、市民説明会、図書館協議会の市民参画・協働推進委員会が認めた3つの市民参画手続きを経て、教育委員会に基本計画を決定いただくことを予定しています。その後基本計画に基づく設計に入ることとなりますが、設計等の予算については市議会に議決をいただくこととなります。設計にあたって可能な限り市民の意見を反映させることとします。

②建設用地について

JR東日本から土地を譲り受け、「市有地とすること」により、「借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避ける」ことといたします。なお、JR東日本からは、土地を譲渡する場合の条件が示されており、建設候補地比較調査においても既にお示ししております。

③複合施設について

「図書館単独での整備」とします。また、飲食コーナーは整備することとします。

8.市民からの要望・署名等への対応

令和5年11月及び令和6年10月、11月には市民の方々による「花巻病院跡地に新花巻図書館をつくる署名実行委員会」から、市内居住者で自筆と認められる方6, 181名程度を含む、合計10, 269名分の署名を付した請願が提出されました。基本計画（案）は、この方々の請願事項も可能な範囲で考慮しています。

新花巻図書館建設の建設地は、旧花巻病院跡地に！

請願事項

1 新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。

「駅前のJRの用地は狭く、線路わきで電車が通過する度に騒音や振動が発生、立体駐車場は高齢者や障がい者に使いづらく、維持費もかかります。市議会の特別委員会で新図書館は市有地でとの条件を出したのに、JRの用地購入は税金の無駄遣いです。一方、病院跡地は敷地が広く、隣接のまなび学園と連携して生涯学習の拠点にふさわしい地区です。」

- 昨年11月から本年2月まで4回にわたって実施された市民会議では請願事項も踏まえて市民の方々が話し合ったもの
- 市議会の「建設用地は市有地とすること。借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けるべきであること」との提言を受けて市有地とすることにより、借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けることとしている。
- 総合花巻病院跡地も令和2年12月に市議会の提言があった後の令和6年3月に市が約3億24百万円で購入し市有地とした土地
- 仮に新花巻図書館建設地とならなくとも、土地の価値はそのまま残り将来の活用が考えられることから無駄になるものではないと考える。
- 「駅前は線路わきで電車が通過する度に騒音や振動が発生」とのご意見については、専門家の意見によると設計段階で対策をすることは可能であり、基本計画（案）においては、「静かに閲覧したい人のための閲覧スペース」など防音に配慮して部屋などを設置することとしていることや、「立体駐車場は高齢者や障がい者に使いづらく、維持費もかかる」とのご意見には、駐車場は平面で整備することとし、図書館利用者が無料で利用でき、特に図書館建物に隣接した38台程度の平面駐車場については、高齢者、障がい者、乳幼児連れの方々が優先的に利用できるようにすることとしている。

新花巻図書館整備について

請願事項

2 新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。

「日本の作家で世界の言語に最も多く翻訳されているのは宮沢賢治の作品です。世界中の賢治の翻訳本やCDなどを収集して閲覧できるのは、花巻図書館だからこそできます。稗貫農学校や花巻高等女学校があった跡地周辺は宮沢賢治と妹トシのゆかりの地で、国内外から宮沢賢治ファンが憧れて訪れるような図書館は、花巻のもうひとつの観光名所になります。」

- 「新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。」については、花巻駅前も賢治作品「シグナルとシグナレス」の舞台であり、「銀河鉄道の夜」のモチーフとなった岩手軽便鉄道や花巻電鉄の駅があった場所で賢治ゆかりの地
- 総合花巻病院跡地については、地形等に伴う制限は考慮に入れる必要があるが、宮沢賢治ゆかりの地に相応しい図書館以外の公共事業に活用することも考えられる。
- 世界中の賢治の翻訳本やCDなどを収集して閲覧できるのは、花巻図書館だからこそできるということに関しては、花巻図書館の建設場所が総合花巻病院または駅前のどちらに立地しようと花巻市の図書館である以上考慮すべきことであり、基本計画（案）においては宮沢賢治に関する資料は重点的に収集
- イーハートブ館が保有する専門的な研究資料等については、イーハートブ館で保有しながら図書館でも閲覧や貸出ができるようなシステムの構築と、宮沢賢治専用のスペースを設けることを検討するなど、宮沢賢治の出身地にふさわしい図書館を目指している。

請願事項

3 新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。

「市民が利用しなくなる図書館は、多目的ギャラリーやカフェを併設すれば、市民の交流と憩いの場となります。霊峰・早池峰をのぞむ景観と花巻城址につづく公園や周辺の大堰川の散策路や商店街を整備して、歩いて楽しめる花巻のまちづくりと活性化が期待できます。使いやすさと建築設計のデザインも、未来の世代に誇れる図書館を希望します。」

「新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。」については、ご意見いただいた「多目的ギャラリーやカフェ」を基本計画（案）において図書館に設置することとしている。

■ 目的

市民が安心して医療を受けられる環境の維持を図ることを目的とする。

■ 地域医療の中核を担う医療機関に必要な**医師の確保**

市内の中核医療機関へ医師として就職する際の支援を行う。

市内の中核医療機関が医師紹介事業者を通じて医師を雇用した場合に支払う医師紹介手数料や雇用した医師の研修費について支援を行う。

(支援の内容)

- | | |
|------------|------------------------------|
| ・就職支援金給付 | 医師に就職支援金を支給 |
| ・保育料支援 | 医師に、子どもを保育施設に預ける際の保育料を支援 |
| ・家賃支援 | 医師に最大3年間（※更新あり）、家賃を支援 |
| ・奨学金返還支援 | 医師に最大3年間（※更新あり）、奨学金返還を支援 |
| ・交通費支援 | 医師に最大3年間（※更新あり）、帰省のための交通費を支援 |
| ・医師紹介手数料支援 | 中核医療機関に、医師紹介手数料を支援 |
| ・医師研修費支援 | 中核医療機関に、医師研修費を支援 |

※家賃支援、奨学金返還支援、交通費支援は就職から3年間を上限とするが、上限に達した後もさらに3年間勤務することを条件に支援の更新をすることが可能

公共交通ネットワーク①



■ 路線バスの再編

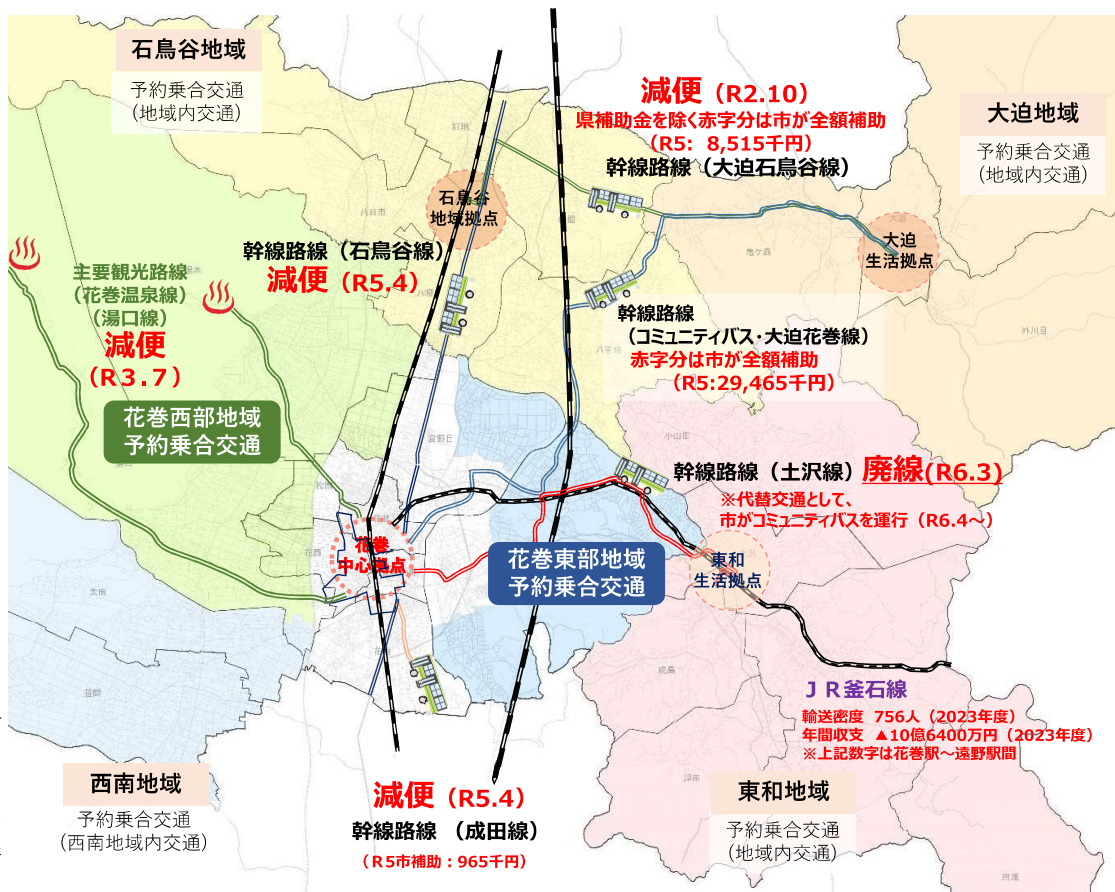
- ・コミュニティバス土沢線、大迫花巻線の維持再編
- ・主要観光路線の花巻温泉線、湯口線の路線維持
- ・いわて花巻空港～花巻駅ルートの新設 (R7.4実施)
- ・教育センター線のルートの見直し (R6.10月実施)
- ・天下田団地線とコミュニティバス県立中部病院連絡バスの統合によるルート・ダイヤ見直し (R6.10月実施)

■ 市街地循環バスのルート拡大

- ・松園地区、花北地区、花南地区の一部エリアでルート拡大 (R6.10月実施)

■ 予約乗合交通の新規導入と見直し

- ・花巻地域（湯口、湯本、矢沢、宮野目地区）への予約乗合交通の導入 (R6.10月実施)
- ・スクールバス・スクールタクシーへの一般混乗 (R6.7月再開)
- ・石鳥谷・東和・大迫地域予約乗合交通の運行形態の見直し (R7.4実施)



公共交通ネットワーク②



■ 予約乗合交通の運行 (市内6地域) ※令和7年4月から石鳥谷・東和・大迫地域において、運行内容を変更

	石鳥谷地域 予約乗合バス (2017.2月開始)	東和地域 予約乗合バス (2017.10月開始)	大迫地域 予約乗合バス (2018.10月開始)	西南地域 予約乗合バス (2019.10月開始)	花巻西部地域 予約乗合交通 (2024.10月開始)	花巻東部地域 予約乗合交通 (2024.10月開始)
運 行 日	月・火・水・木・金の週5日 (R7.4～)			月・木、火・金 を交互に運行	火・木	
運 行 形 態	定時・区域運行					
運 行 時 間	1日12便(往路6,復路6)			1日5便(往路3,復路2)		
予 約 受 付 時 間	8:00～17:00 運行1週間前～当日1時間前 ※西南・花巻西部・花巻東部地域は1時間半前まで予約可、8時台のみ前日予約					
利 用 料 金	1回：600円 ※小学生、身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者 保健福祉手帳を有する人 300円、未就学児は無料 (要大人同伴)			1回：400円 ※小学生、身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者保 健福祉手帳を有する人 150円、未就学児は無料 (要大人同伴)		
乗 降 場 所	自宅付近の公道⇄指定乗降場所 指定乗降場所⇄指定乗降場所			自宅付近の公道⇄指定乗降場所		

公共交通以外の移動支援

■ 高齢者福祉タクシー事業

移動手段のないひとり暮らし高齢者等に対し、タクシー助成券を交付。年間12,000円/人 利用者数 1,577人 利用額 14,761,800円(R5実績)

■ ご近所サポーター事業

各地域団体の住民ボランティアによる介護予防・日常生活支援総合事業の一つ。自動車による、買い物や通院の付添支援

実施団体 7団体 (R5実績)

- 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が令和5年10月1日に施行
- 自治体又は鉄道事業者からの要請に基づき、国が「**再構築協議会**」を組織し、鉄道の維持・活性化や他の交通モードへの転換を定める再構築に関する方針を作成することが示された
- **1キロあたりの1日平均通過人員が「1,000人未満」の区間**が該当。当市に発着駅を有するＪＲ釜石線も設置要件に該当している

≪ＪＲ釜石線の状況≫※ＪＲ東日本による公表

花巻駅～遠野駅間の**平均通過人員 756人**（2023年度）
年間収支 ▲10億6千4百万円（2023年度）

ＪＲ釜石線は県内陸部と沿岸部をつなぐ重要な路線

- ・ 新幹線駅である新花巻駅への接続路線であり、**県外からの観光・ビジネス客の市内や沿岸部への移動手段**
- ・ 災害時において、内陸部と沿岸部の**支援物資輸送手段**となるなど**代替性・補完性の確保**
- ・ 沿岸部を運行する三陸鉄道に接続する路線であり、**三陸鉄道にも影響**

→ＪＲ釜石線などのローカル鉄道の存続・活性化のためには、**便数の増加等を含む更なる鉄道の利便性向上の取り組みが必要**



ＪＲ釜石線における「再構築協議会」の設置については、慎重に対応していただくこと、仮に協議会が設置される場合には、国、県、沿線市町村、鉄道事業者が一緒になって存続を前提とした協議を行うこと、さらには、鉄道の利便性向上による利用者の増加を図るため、ローカル鉄道の存続を前提とした支援を行うよう国に要望している。

■市の有害鳥獣被害対策

- ・被害防除 電気柵設置経費、未利用果樹の伐採費用への支援
- ・捕獲 花巻市鳥獣被害対策実施隊の設置
ニホンジカ、イノシシ、カラスの捕獲に対する国の交付金への市単独での嵩上げ補助
- ・狩猟者確保 狩猟免許取得経費、ガンロッカー及び装弾ロッカー購入費用への支援

●有害鳥獣（ツキノワグマ）の目撃状況や市の対応について

専門家の情報によると、奥羽山脈側でクマの生息数が多く、その中でも豊沢地域は極めてクマの生息数が多く、しかも増えている状況。

〔 岩手県が実施したヘア・トラップ法調査の結果によると、豊沢湖周辺のクマの生息密度は令和3年度は1平方km当たり1.70頭と平成25年度の1.00頭に比べ1.7倍増加。 〕

令和5年度はクマの食料であるドングリが凶作となり、全国的にクマの出没が急増。

《花巻市の場合》

令和6年度のツキノワグマの目撃件数は令和7年2月末日時点で298件（前年同期比206件減）

【令和6年度はクマの食料である木の実が並作のため秋季の目撃件数が大幅に減少】

令和6年度は令和7年2月末日時点で人身被害なし

【令和5年度は人身被害が3件4名発生（大迫町外川目地内2件3名、石鳥谷町大瀬川地内1件1名）】

市民の安全を守るために

1 情報共有

- 市街地等でのクマの目撃情報は、市の関係部署間でビジネスチャットツールを活用して即時に共有し、警察、花巻市鳥獣被害対策実施隊に速やかに連絡

2 情報発信

- 市HPや公式SNS等で目撃情報を発信し、注意喚起。また、岩手県の「いわてモバイルメール」を活用し、市内のクマ目撃情報をメールで配信
- 目撃場所付近の広報及び警戒パトロール、保育施設や学校、行政区長等への情報提供

3 安全確保

- 出没場所付近を通行して小中学校に通う児童生徒の安全確保のため、保護者による送迎をお願いするとともに、送迎が難しい場合は、タクシーや貸切バス、市公用車を配車

4 AIカメラの設置

- 早期発見・早期追い払い、中心市街地への侵入経路の特定、児童生徒の安全確保を目的に、クマが出没した河川敷や通学路にAIカメラを設置
(令和7年度は25個所に49台設置予定、このほかに予備として6台導入済み)

物価高における市民の皆様・市内事業所への支援



事業名	内容			
定額減税補足給付金給付事業【国事業】 R 6 事業	令和6年度において、1人当たり住民税1万円、所得税3万円の定額減税が実施されておりますが、それぞれ減税しきれないと見込まれる方について、対象者へ調整給付金を支給（国） 申請期間 令和6年6月3日から10月31日 支給者数 18,360人 支給金額 746,790千円			
価格高騰緊急支援給付金給付事業（10万円給付）【国事業】 R 6 事業	令和6年度新たに住民税非課税もしくは均等割のみ課税となった世帯に対し、1世帯あたり10万円、当該世帯に属する18歳以下の児童に対し1人あたり5万円を給付（国） 申請期間 令和6年6月3日から10月31日 給付世帯数 ①住民税非課税世帯 877世帯 児童128人 94,100千円 ②住民税均等割のみ課税世帯 530世帯 児童138人 59,900千円 計 1,407世帯 児童266人 154,000千円			

物価高における市民の皆様・市内事業所への支援



事業名	内容
価格高騰対等緊急支援給付金事業（3万円給付）【国事業】 R 6 繰越事業	令和6年度住民税非課税世帯に対し、<u>1世帯あたり3万円、当該世帯に属する18歳以下の児童に対し1人あたり2万円</u>を給付（国） 申請期間 令和6年12月25日から令和7年7月31日 対象世帯数 約 9,300世帯 対象児童数 約 900人 支給金額 279,000千円 ※令和7年3月末現在
修学児童・生徒世帯生活応援事業【市事業】	大学への入学や就職を控える子育て世帯へ<u>市独自の支援金</u>を支給 対 象 令和6年度で満18歳（高校3年生）となる児童・生徒を養育する世帯で、児童・生徒もしくは養育者が令和7年1月1日時点で市内に住所を有している世帯 支給額 <u>一人あたり2万5,000円</u> 約840人

事業名	内容
公共交通事業者緊急対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の大幅減少や、燃料費高騰の影響を受ける公共交通事業者（乗合バス・タクシー）に対して、安定した事業継続に向け支援金を交付。
中小企業持続支援事業 	中小企業売上アップ応援事業（PayPay20%還元キャンペーン） ○第11弾＜R6.11.9～R6.11.30(22日間)＞ 1 決済あたりのポイント付与上限：3,000円、期間中ポイント付与上限：10,000円 キャンペーン実績：決済総額 800,228,092円（1日当たり 36,374,004円） ポイント付与額 137,485,224円（1日当たり 6,249,328円） 運輸事業者運行支援緊急対策交付金 ○燃料費高騰の影響を受けた貨物自動車運送事業者に対し、安定した事業継続に向け支援金を交付。

事業名	内容
観光・物産事業者等緊急対策事業	■花巻市貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 市内に貸切バスをR6.10.1時点で配車している貸切バス事業者に対し、R6.10～R7.3の半期分として1台あたり34千円を支援
社会福祉施設等物価高騰対策事業	物価高騰等の影響を受けている社会福祉施設等に対して、支援金を交付 【対 象】 県の支援制度の支給対象外となっている社会福祉施設等 （設置者が花巻市である介護サービス事業所、高齢者施設） 【支援金額】 介護サービス事業所、高齢者施設：定員1人当たり10千円
私立高校振興事業 R6繰越事業	物価高騰の影響を受けている私立高校に対して、支援金を交付 【対象】 私立高校（花巻東高等学校） 【支援金額】 令和6年10月から令和7年3月までの光熱費を令和3年度と比較し、その上昇額から一定額※を差し引いた残額を補助（上限950千円） ※一定額：県の補助上限額950千円の2倍にあたる1,900千円

事業名	内容												
原油価格高騰対策緊急 支援事業 【県・市事業】	住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対し、<u>1世帯あたり7千円</u>を給付 →<u>市独自に住民税均等割世帯を対象へ加え給付</u>（非課税世帯への支給は県補助金を活用） ※ R 3 から継続して実施 <table><tr><td>対 象</td><td>①住民税非課税世帯</td><td>8,929世帯</td><td>62,203千円</td></tr><tr><td></td><td>②住民税均等割のみ課税世帯</td><td>1,831世帯</td><td>12,817千円</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>10,993世帯</td><td>76,020千円</td></tr></table>	対 象	①住民税非課税世帯	8,929世帯	62,203千円		②住民税均等割のみ課税世帯	1,831世帯	12,817千円		計	10,993世帯	76,020千円
対 象	①住民税非課税世帯	8,929世帯	62,203千円										
	②住民税均等割のみ課税世帯	1,831世帯	12,817千円										
	計	10,993世帯	76,020千円										
ごみ処理事業	花巻市内に本社又は営業所を有する花巻市一般廃棄物収集運搬許可業者に対し、許可車両（市委託業務にのみ使用している車両を除く） 1 台あたり3 2 千円を交付。												

事業名	内容
飼料購入緊急支援事業	R6 畜産農家の飼料（配合飼料および乾牧草）の購入費を支援 （輸入乾牧草:1トンあたり7,000円、国産乾牧草:1トンあたり5,000円、 配合飼料:1トンあたり1,000円） 支援の実績（2月末現在）：96経営体、21,374,873円 R7 畜産農家の飼料（配合飼料および乾牧草）の購入費を継続して支援 （輸入乾牧草:1トンあたり4,000円、国産乾牧草:1トンあたり5,000円、 配合飼料:1トンあたり1,000円）
乳用子牛等出荷緊急支援事業	R6子牛のミルク代や市場までの運賃など、乳用子牛等の出荷に係る経費の一部として 1頭あたり11,000円を支援 支援の実績（2月末現在）：16経営体、2,101,000円 R7子牛のミルク代や市場までの運賃など、乳用子牛等の出荷に係る経費の一部として 1頭あたり11,300円を支援

花巻地区かわまちづくりについて

【現状】

- 中心市街地に人が来ない
- 花巻温泉郷・花巻駅・新花巻駅周辺にしか県外客がいない

【かわまちづくり】

河川空間とまち空間が融合した賑わいのある空間形成を目指す取り組み

**令和7年度
登録を目指す**

〔基本方針〕「北上川・北斗7星プロジェクト（7つの輝きづくり）」

【7つのプロジェクト=基本方針】

①水上アクティビティの充実

②水辺プラザ
(イギリス海岸)の活用

③イベントの展開

かわまちの融合

④体験型
アクティビティの創出

⑤新たな花の風景づくり

⑥賢治を感じる散策路
ネットワークづくり

⑦市街地・
花巻温泉郷との連携

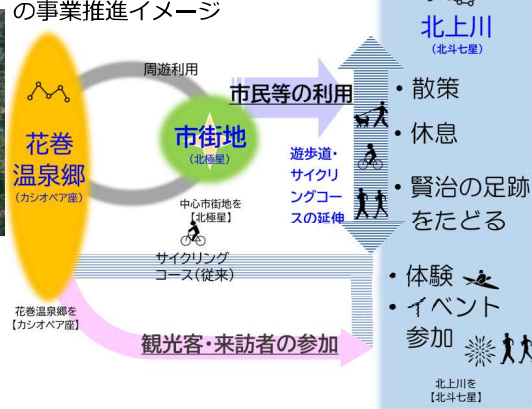


七つの輝きづくり（北斗七星）と結ぶ
市街地（北極星）・温泉街（カシオペア座）
の事業推進イメージ

本計画を
【北斗七星】
に見立てる



花巻温泉郷を
【カシオペア座】
に見立てる



かわまちづくりイメージ

中心市街地活性化イメージ



花巻リノベーションまちづくり構想

花巻地区かわまちづくりについて②

【これまでの活動内容と関連施設】

施策1【ウォーキングトレイル事業】1996(H8)～2007年(H19)

- 「賢治さんと歩く心象ロード」をキャッチフレーズにウォーキングトレイルを整備。
- 歩行者専用道、歩車共行道、歩道を整備して、歩行者道路のネットワークをつなぎ、案内サイン、ベンチやパーゴラなどの休憩施設、トイレ等を整備。



施策2【花巻水辺プラザ】1999(H11)年

- 河川管理者と市の協働により整備。イギリス海岸を中心に多くの人たちの憩いや交流の場とするために、花巻市の公園や桜づつみを結ぶ水辺の散策路、坂路、階段、船着場、トイレ等を設置。
- ドーバーファーム市民の会による農作物の栽培や花壇の整備、収穫祭などのイベントが行われている。



施策3【桜づつみ】1990(H2)～1998(H10)年

- 桜づつみモデル事業として河川管理者と花巻市の協働により、北上川右岸にはイギリス海岸から朝日大橋まで約2kmに渡り遊歩道が整備されている。



活動1【どでびっくり市】

上町通りで過去41回開催されている「どでびっくり市」。旬の品を販売。



活動2【花巻中央エリア社会実験】

中心市街地活性化の一環として花巻中央エリアでの社会実験を実施。



活動3【北上川河川敷】

花巻市では北上川右岸河川敷の、朝日橋の上流～下流の区間を占用しており、花火大会（イーハートフォーラム）など大きなイベントの会場となっている。



活動4【銀河大橋たもとの乗船】

- かわまちづくり計画範囲の上流端に位置し、現在は未整備の河岸を船の発着場所として利用している。
- 車両の進入は可能であるが駐車場等は未整備である。



活動5【泥岩層が観察できる猿ヶ石川】

- 銀河大橋のすぐ下流の北上川と猿ヶ石川合流点付近には、泥岩層が観察できるポイントがある。



活動6【下ノ畑】

- 賢治自耕の地と言われる下ノ畑を再生し、宮澤賢治「下の畑」保存会や地元の高校生が作物や花を栽培。



施策4【北上花巻温泉サイクリングロード】

1973(S48)～1979(S54)年

(岩手県道501号北上花巻温泉自転車道線)

岩手県が管理する、北上市から花巻温泉までの約26kmの自転車道。かつての花巻電鉄の軌道跡や北上川の堤防道路を活用。



活動7 ④【河川水面利用（川下り）】

- 花巻スポーツランド（民間施設）では、河川水面を利用したアクティブな体験ができる活動を展開している。
- 1年を通して様々なイベントが行われている。



